

杉並区労連第28回大会開く



大会の様子。発言は年金者組合・石塚さん。正面は議長と役員。

去る10月24日(木)、産業商工会館で区労連第28回定期大会が開かれました。大会には代議員や役員22人、来賓、争議団の方10人が参加しました。

大会は、はじめに高田区労連議長が挨拶。続いて、大会議長に角谷さん(全厚生)を選出し、来賓のご挨拶をいただきました。大会が成立していることを確認した後、議事に入り、峰事務局長が経過並びに方針案と決算報告、予算案の提案をまとめて行いました。

大会では5人から発言があり、討論の後すべての議案を採択し、最後に新年度の役員を選出しました。また、近藤常任幹事が万感の思いで退任の挨拶をされました。

来賓のご挨拶

東京地評事務局次長 屋代さん
どこも組織面、財政面で苦勞している中、組合の存在意義、役割を果たすため奮闘している。全労連は結成30年。非正規を含めたすべての労働者を視野に入れて運動を進める。杉並区労連の発展を切に願う。

国民救済会東京本部

根岸さん

かつて自身の解雇撤回の運動を支えてくれたのが杉並区労連だった。国民の権利を守るために今後も共に闘っていききたい。

日本共産党杉並区議

野垣さん

この間、杉並区議会で歴史を捻じ曲げ傷つける許せない発言があり、撤回と謝罪、辞職を求めた。市民と野党の共闘を進め、働く人の生活と権利を守るために連帯して闘っていききたい。

杉並総合法律事務所

弁護士三浦さん

来年の国会に「裁量労働制」がまた出されるかもしれない。どんなに働いても8時間働いたと見な



挨拶する三浦弁護士

すので、「残業代ゼロ」「働かせ放題法案」と言われている。

もう一つ大きな問題は、教員に対する「変形労働時間制」だ。いま、教員の長時間労働はものすごいことになっているが、彼らには労働基準法が適用されない。賃金の4%の手当をつけるから、と。これが長時間労働のまん延を助長している。「変形労働制」はいわば、忙しい時にたくさん働いて、そうでないときは休んでもらうというもの。しかし、教員はいつも忙しいし仕事の量は変わらない。労働時間が減ったりはしない。

さらにもう一つ、財界が力を入れている問題がある。それは「解雇の金銭解決」というものだ。「首」の引きかえに「金」というが、水準は低い。会社は組合が嫌いだから「狙い撃ち」も、不当解雇が増えていくのではないか。

東京都労働局労働相談

情報センター 田口さん

日ごろから、労働組合の基礎調査をはじめ、東京都の施策に対するご協力ありがとうございます。

代議員の 発言から

全厚生日本年金機構本部支部

社会保険庁の不当解雇撤回闘争は、法廷闘争で残念ながら最高裁でも敗訴に終わり、幕を閉じざるを得なかった。ただ、社会に対し不正を訴えることはできた。これまでのご支援に感謝します。

都教組杉並支部

今日は朝7時から6時まで働いて大会に参加した。普通はこの間に休憩があるのだが教員の世界はとれない。しかも残業代は出ない調整手当が月に4%でしか。私の場合は1万円だ。若い人は9時頃まで仕事をしている。

ということでは6時頃までは勤務時間にするとというのが「変形労働時間制」だ。授業の準備やまとめは勤務時間後となると、9時、10時まで学校にいることになる。

一方で管理職だけでなく同僚からのパワハラも増えている。ストレスが溜まっている。「変形労働時間制」はこうした状況に拍車をかけるもの。法案の廃案のため、皆さんのご理解とご協力をおねがいしたい。

自交総連宮園労組

タクシー業界も一年間の「変形労働時間制」をとっているが、労働時間は月間最高173時間まで。一日の拘束時間もインターバルの時間確保も定められていて、時間管理はものすごく厳しい。

タクシーの場合は歩合制があるから、長く働くほど収入が増える。しかし、それでは事故が増えたり健康を損ねたりする。組合は先頭に立って労働時間の制限に取り組んできた。

「ウーバーイーツ」というのをご存知でしょうか。簡単に言えばスマホを使つての「出前」のこと。ウーバーは「ライドシェア」をしている会社のこと。

「ライドシェア」はスマホを使つて、お客と運転する人をマッチングするというもの。我々はいま、反対運動をやっているが、世界中に広まっている。これを防いでいるのは日本だけ。ウーバーはマッチングの手数料で莫大な利益を上げている。

運転する人がどういう人かわからないので、レイプ・殺人の事件も起きています。日本の道交法では料金を取る場合、2種免許保持、緑ナンバー車などの規制がある。ソフトバンクや楽天などは、それを改正して一種免許で誰でもできるようにしようとしている。運転する者は事故、トラブルは自分持

ち、社会保障の適用もない。「労働者」ではないので最低賃金の保証もない。非正規化も加速する。利用者の便利の陰で「働かせ改革」が進もうとしている。

日本年金者組合杉並支部

年金引き下げは憲法違反だと訴えを起こしてから5年目を迎える。東京は来る2月14日口頭弁論の予定だ。マクロ経済スライドのため、国民年金は最終的には年7兆円、月2万円も減らされる。黙っていない。

福祉保育労さゆり保育園分会

幼児教育無償化というが、0歳の待機児は解消せず、3歳以上の幼児が対象。しかし食費は徴収。地域により自治体が負担するところもある。杉並は区が払っているが、三鷹などは月6千円の徴収。家庭によっては大変な負担に。園の事務作業も大変。子どもの発達にとって食事はとても大事。

今、保育職員全体が不足している。

給料が安いから。そのためパートさんもなかなか埋まらず、忙しさは増え負担が大きくなる。子どもと向き合っている間は事務仕事はできないので、残業になったり、仕事を持ち帰ることになる。こんな悪循環を解決しようと署名運動を行っている。ご協力をお願いします。

選出された今年度の役員

- 議長・高田勝善
- 副議長・前山武雄
- 事務局長・峰一史
- 常任・村上豊・佐藤正史・湯川卓馬・(年金者組合選出者)
- 会計監査・佐藤憲一

11.3区労連秋の行事...柴又・帝釈天・矢切の渡し散策



祝日、七五三、柴又寅さんサミットなども重なって賑やかな人混み。団子を食べながら柴又の雰囲気を楽しみました。

11.20第30回豊かな高齢期をめざす東京のつどい



前文科省事務次官・前川さんの講演もあり杉並公会堂は満員。長生きして楽しく社会貢献、政治を変えようと、元気な集会に。

11.22すぎなみ憲法の夕べ (セッション杉並)



安倍内閣の戦争できる国づくり政策。湯水のように軍事費が使われていると半田滋さんは警告を鳴らしました。